

社会福祉法人ぱれっと 平成28年度 事業報告書

社会福祉事業

(1) ぱれっとハウス【共同生活援助事業】

ユニット1	さるびあ	定員	6人	(鶴見区仲通)
ユニット2	かのん	定員	7人	(鶴見区鶴見中央)
ユニット3	ロンド	定員	7人	(鶴見区鶴見中央)

① 概況

ユニット1さるびあで5月に、ユニット3ロンドで11月に退去があり、入居者募集を2回行いました。

現在入居中の20名の入居者が、各々の希望を尊重した個別支援計画を作成し、計画に沿って必要な支援を行いました。

健康管理：入居者の健康状態に気を配り、心身の状態に変化があった場合、必要に応じ受診を促したり通院同行を行い、入院時にも支援を継続しました。服薬管理が難しい利用者には、薬のセットや服薬確認を行いました。個々の内科疾患に対し、血圧、体重、血糖値等の測定結果を入居者と職員で共有し、数値の安定した状態を保つように努めました。

日常生活支援：日常生活に必要な物品を購入する際、一人では困難だったり、判断に迷うときなど、一緒に調べたり、買い物に同行しました。また、居室の清潔を維持するために、衣類や寝具の状態を確認し、清掃を一緒に行いました。

金銭管理：金銭管理の難しい入居者にはあんしんセンターと連携し、金銭管理支援を行いました。また、「ぱれっとハウス金銭管理・保管契約」を締結した入居者には、1週間単位で生活費をお渡しするなどさらにききめ細やかに対応しました。

食事提供：月曜から金曜は調理当番の入居者と職員で調理を行いました。月に数回、宅配業者の食材を注文せず、入居者の希望で献立を考え、買い物に行くところから職員と一緒に行いました。毎週土曜日も希望者へ昼食提供を行いました。

余暇支援：豊かな生活の実現に向け、必要に応じ入居者の旅行や外食に同行しました。また、室内でできる軽い運動やゲーム等を行いました。お正月は、3ユニット合同で初詣を企画し、入居者間の交流を図りました。

地域交流：地域の防災訓練や町内清掃に参加し、近隣との交流を図りました。

②実績

(人)

ユニット		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
あさるび	実人数	6	6	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	71
	(退去)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	(入居)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	(入院)	2	1	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	7
かのん	実人数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
	(退去)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(入居)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(入院)	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	5
ロンド	実人数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
	(退去)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	(入居)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	(入院)	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	4
	計	20	20	19	20	20	20	20	20	20	20	20	20	239

体験入居・・・なし

③入居者の概要 平成 29 年 3 月 31 日現在

年代別：入居者計 20 人（男性 17 人、女性 3 人） (人)

～20 歳	～30 歳	～40 歳	～50 歳	～60 歳	～70 歳	71 歳～	計
0	1	1	6	5	6	1	20

障害支援区分

(人)

区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6
0	15	4	1	0	0

④支援実績 (件) ○数字は緊急電話対応

月	面接			電話対応(利用者)		電話対応(家族)		電話対応(関係機関等)		訪問					
	支援計画	モニタリング	個別面接	受電	架電	受電	架電	受電	架電	受診同行	手続き同行	その他同行	カンファレンス	関係機関調整	自宅
4	2	0	1	⑤	②	②	0	24	37	3	0	1	0	0	0
5	4	0	4	②	1	0	1	0	39	36	3	0	1	0	2
6	6	0	1	⑤	11	0	2	0	8	30	2	0	0	1	3
7	4	1	0	④	11	②	1	0	34	28	5	0	5	0	0
8	2	0	1		7	0	3	0	28	31	4	0	2	0	0
9	1	0	1	①	11	0	8	1	30	36	7	0	0	0	0
10	4	0	3	⑨	14	4	7	1	24	26	5	0	1	1	5
11	3	1	0	④	18	②	2	10	0	35	40	8	0	2	0
12	5	0	0	⑤	15	0	13	3	19	24	1	1	2	1	0
1	3	0	2	⑤	4	0	4	1	17	22	3	1	2	0	0
2	3	0	1	④	8	0	0	0	13	12	3	0	3	0	0
3	1	0	2	⑥	13	②	1	0	7	4	5	0	2	0	0
計	38	2	16	50・113	⑧・6	50	6	278	326	49	2	21	3	10	0

⑤防災教育・訓練・点検

	実施日	項目	内容	参加者他 (人)
さるびあ	8月2日(火)	火災報知器点検	設備点検	業者による点検
	9月4日(日)	防災訓練	地域の防災訓練参加	参加者 7
	2月20日(月)	火災報知器点検	設備点検	業者による点検
	3月20日(月)	防災訓練	避難場所、緊急連絡票等の確認	参加者 8
かのん	8月2日(火)	火災報知器点検	設備点検	業者による点検
	9月4日(日)	防災訓練	地域の防災訓練参加	参加者 8
	2月20日(月)	火災報知器点検	設備点検	業者による点検
	3月20日(月)	防災訓練	避難場所、緊急連絡票等の確認	参加者 8
ロンド	8月2日(火)	火災報知器点検	設備点検	業者による点検
	9月4日(日)	防災訓練	地域の防災訓練参加	参加者 7
	2月20日(月)	火災報知器点検	設備点検	業者による点検
	3月20日(月)	防災訓練	避難場所、緊急連絡票等の確認	参加者 9

(2) ぱれっとワークスれんげ 【就労継続支援事業B型】

①概況

ぱれっとワークスれんげは就労継続支援B型の事業を開始してまる2年が経過しました。利用者の作業意欲の向上に合わせて作業量の充実をはかりました。また、利用者への支援も更に充実させ、個別支援計画の作成・通院同行・関係機関との連絡調整等を行いました。

次年度も個別支援計画の目標に沿った支援や、個別の課題にともに取り組み、安定した生活を送れるよう努力します。

れんげでは、清掃などの受託作業の工賃を作業内容に則した金額に見直すことで、不平等感を減らしたことで、利用者の作業に対するモチベーションが向上しました。公園清掃やアパート清掃は積極的に増やし、より多くの利用者が参加できるようになりました。

内職作業は、昨年度に引き続き3ヵ所から仕事を受け、常に内職がある状態を目指しました。作業の選択肢が広がり、作業に気軽に参加できる体制を整えるとともに、作業効率をよくする工夫をしました。

自然館では、内職作業を導入したことによって作業の選択肢が増え、利用登録や通所者数の増加にも繋がりました。しかし、内職が少ない時期もあり、新規業者の開拓をしようかと迷いましたが、よこはま障害者共同受注総合センターの募集に積極的に応募し、単発の封入作業やお菓子のラッピング等の座ってできる作業を確保しました。結果として、取引業者は現状のまま次年度も同様に行うことにしました。

②実績

(のべ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	21	19	22	20	22	23	23	22	19	18	21	23	253
れんげ 通所者数	365	356	399	326	307	340	336	321	288	305	340	346	4029
自然館 通所者数	230	171	233	216	211	211	251	257	241	244	266	274	2805
全体 通所者数	595	527	632	542	518	551	587	578	529	549	606	620	6834
新規登録者 数(実)	1	0	0	0	0	1	2	2	1	1	0	0	8
登録解除者 数(実)	1	0	1	0	0	0	0	1	1	1	1	0	6
(体験利 用・実)	2	1	1	1	5	4	4	2	1	2	1	3	27

③登録者の概要

()内は市外利用

(平成29年3月31日現在)

(実人数)

	～20歳	～30歳	～40歳	～50歳	～60歳	～70歳	71歳～	計
男性	0	2	3	9 (1)	10	5	0	29 (1)
女性	0	0	7	5	4 (1)	1 (1)	1	18 (2)
計	0	1	10	14 (1)	14 (1)	6 (1)	1	47 (3)

④作業実績

1、施設外就労

作業種目	回数	作業内容	延べ利用者数
バスターミナル清掃	48	鶴見駅東口バスターミナルの清掃	191
公園清掃	32	鶴見神社公園・白幡公園・荒立公園・馬場4丁目公園の清掃	157
鶴見中央ケアプラザ清掃（下半期）	62	エントランス・駐車場・外周・トイレ・2Fフロアの清掃	185

2、自主製品

作業種目	回数	作業内容	延べ利用者数
製菓	356	マドレーヌ、クッキー、パウンドケーキ、カレー店の営業等	1873
販売会	40	区内ケアプラザ、地区センターでの販売、ロビー販売等	88
ワゴン販売	13	鶴見区役所ロビーでの区内事業所の自主製品の販売	13
その他販売	11	馬場花木園バザー、鶴見川サマーフェスティバル等	65

3、受託作業

作業種目	回数	作業内容	延べ利用者数
鶴見中央ケアプラザ清掃（上半期）	62	エントランス・駐車場・外周・トイレ・2Fフロアの清掃	186
アパート・駐車場清掃	63	反町・元宮・上末吉のアパート、南軽井沢・逗子駐車場等の外周及び共有部分の清掃・草刈	254
洗車	21	寺尾地域ケアプラザの送迎車・個人所有車の洗車	52
草刈	7	個人宅の草刈・清掃作業	72
ポスティング	58	福祉つるみ(区社協発行)・ぱど等の配布	246
ボールペン・シャープペンシル組立	240	組立・検品・箱詰め等の作業(れ)	2512
シャープペンシル組立	572	同上(自)	1073
資料差込み及び梱包作業・封入作業	6	資料差し込み	30

平均工賃 7,509円/月

⑤支援内容 (件)

	面接			電話対応(利用者)		電話対応(家族)		電話対応(関係機関等)		訪問					
	支援計画	モニタリング	個別面接	受電	架電	受電	架電	受電	架電	受診同行	手続き同行	その他同行	カンファレンス	関係機関調整	自宅
4	32	31	33	131	36	9	1	34	33	8	3	4	2	0	4
5	11	12	27	149	16	7	4	11	19	5	2	1	0	2	4
6	2	5	18	129	8	3	3	26	22	6	2	1	0	3	6
7	7	4	12	117	8	3	2	8	7	4	1	0	2	0	1
8	11	11	26	125	11	5	1	4	12	2	3	1	1	0	0
9	22	3	25	136	4	0	3	8	5	0	1	0	0	0	2
10	11	0	35	120	14	5	3	25	26	3	2	0	0	0	0
11	1	0	40	92	16	5	10	20	30	7	3	3	0	4	1
12	0	0	23	100	13	5	2	25	15	2	4	0	0	0	1
1	1	0	38	109	16	6	2	16	16	1	3	4	0	0	0
2	0	4	27	123	18	6	0	7	10	0	0	1	0	0	0
3	6	4	27	140	15	8	0	15	5	0	1	0	0	0	0
計	104	74	331	1471	175	62	31	199	200	38	25	15	5	9	19

⑨防災教育・訓練・点検

実施日	名称	内容	参加者等 (人)
7月8日(金)	防災訓練(自)	災害名簿・備蓄品の確認・消火器訓練等	利用者 15 職員 4
7月13日(水)	消防用設備等点検(れ)	消火器具点検等	職員 1
9月4日(日)	地域防災訓練(れ)	心臓マッサージ・人工呼吸・水消火器の使い方・備蓄庫と非常用トイレの確認	利用者数 9 職員 2
10月3日(月)	消防用設備点検(自)	消防器具点検等	職員 1
2月10日(金)	消防設備点検(れ)	消防器具点検等	職員 1
3月6日(月)	防災訓練(れ)	避難場所、避難経路の確認・消火器訓練等	職員 3 利用者 12
3月30日(木)	消防用設備点検(自)	消防器具点検等	職員 1

(3) みのり 【地域活動支援センター】

①概況

・作業について

作業内容を主に内職とみのりマルシェ（自主製品・鶴見産野菜の販売）とし、今年度の新規利用者については作業能力（手先の器用さ、集中力等）及び作業種目の希望を把握することに重点を置きました。利用者全員が一通りの作業を経験し、その中で得意とする作業と苦手な作業を認識し、無理なく作業を行えるよう適材適所を意識しました。そのうえで前年度から継続して内職に従事している利用者に対しては、無理のない範囲でのステップアップを試み、より幅広く活躍できるよう配慮し、自信に繋がるよう心がけました。

販売は「みのりマルシェ」を前年度に引き続き実施しました。雑貨やおかきの他、鶴見産野菜の販売を継続し、常連顧客を獲得するまでに至りました。販売従事者と常連顧客との間に会話が生まれ、地域の方々との交流という面でも意義のある作業となっています。しかし、従事する利用者の固定化や体調不良・モチベーション低下による販売離れがあり、残された利用者の負担軽減や売上の確保といった課題も発生しています。

昼食作りは、前年度に引き続き毎日行っており、栄養のバランスがとれた食事に魅力を感じ通所する利用者もいます。

その他には資源回収を週に1回、おかき調理を月に約2回、げんき会ニュース発送作業を隔月、福祉つるみのポスティングを年に3回行っており、いずれも来年度も継続して実施の予定です。

・その他プログラムについて

レクリエーションは利用者の希望または意向を聞いて企画し、利用者相互の交流とリフレッシュ・余暇活動支援を目的とし、今年度も引き続き実施しました。今年度の傾向として、遠くへ出かけるプログラムの希望者が少なくなり、企画そのものが難しい状況が続きました。レクリエーションに積極的に参加していた利用者の退所や高齢化による体力低下などが要因として考えられます。一方で近場のカラオケや工場見学などは人気があり、今年度内に2回ずつ実施することが出来ました。

また、前年度の区民文化祭で折り紙作品を区役所に展示しましたが、今年度は「みのりフォトグラフ」と題して、季節ごとの植物やお世話になっている獅子ヶ谷の農家さんの写真を撮影し、展示しました。

②実績

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	20	19	22	20	19	20	20	20	19	18	20	22	239
延べ人数	230	216	248	253	239	260	251	239	237	220	238	286	2917
(内 体験利用)	1	2	3	5	2	1	3	1	0	0	0	2	20

③利用者の概要

() 内は市外利用

(平成 29 年 3 月 31 日現在) (人)

	～20 歳	～30 歳	～40 歳	～50 歳	～60 歳	～70 歳	71 歳～	計
男性	0	1	0	2	7	4	0	14
女性	0	0	0	6	4	2	1	13
計	0	1	0	8	11	6	1	27

④支援内容

月	面接			電話対応(利用者)		電話対応(家族)		電話対応(関係機関等)		訪問					
	支援計画	モニタリング	個別面接	受電	架電	受電	架電	受電	架電	受診同行	手続き同行	その他同行	カンファレンス	関係機関調整	自宅
4	0	0	17	45	26	2	0	9	11	1	2	1	1	0	1
5	0	0	10	42	16	9	5	16	10	1	0	0	1	0	1
6	0	0	10	43	22	4	6	26	16	0	0	1	0	0	0
7	1	0	4	32	12	4	2	15	10	1	0	0	1	0	0
8	1	0	10	24	8	4	4	10	9	0	0	0	0	0	3
9	0	0	13	36	9	4	5	21	13	0	0	2	1	0	0
10	2	0	11	37	8	3	3	9	8	0	0	1	0	0	0
11	0	0	18	28	19	5	1	10	4	0	0	1	0	0	1
12	1	0	7	32	5	4	1	7	5	1	0	0	0	0	0
1	0	0	2	23	1	0	0	3	3	0	1	0	0	0	0
2	0	0	8	25	8	7	0	11	1	0	0	0	1	0	0
3	27	0	3	32	10	2	1	13	7	0	0	0	0	0	0
計	32	0	113	399	144	48	28	150	97	4	3	6	5	0	6

⑤作業実績

作業項目	回数	内容
内職	222	ボールペンの組立・封入・検品作業
昼食づくり	212	食材の買い出し、調理、後片付け
会報誌発送	23	会報誌「げんき会」の封入・発送作業
ポスティング	21	鶴見区社会福祉協議会会報「福祉つるみ」ポスティング
資源回収	48	段ボール・古紙の収集
マルシェ	165	店頭での野菜販売、バザーの準備、販売
おかき作り	33	かき餅の調理、袋づめ、ラベル張り

平均工賃

2,264 円/月

⑥ 防災教育・訓練・点検

月 日	名称	内容	参加者 (人)
8月2日(火)	消防器具点検	火災報知器および消火器点検	業者による点検
9月4日(日)	鶴見上町防災訓練	応急手当訓練・簡易トイレ設置訓練	1
9月8日(木)	みのり防災訓練	避難先への経路確認・防災クイズ・備蓄食料試食	15
3月2日(木)	消防器具点検	火災報知器および消火器点検	業者による点検
3月16日(木)	みのり防災訓練	避難先への経路確認・消火器使用訓練	13

⑩ ボランティアの受け入れ

活動内容	活動回数	活動日
昼食づくり・内職等作業補助	75回	毎週月・金